

清掃作業仕様書

1 日常清掃

(1) 床清掃

区分	内容
弾性床、硬質床	○ 自在ほうき及びダストモップで丁寧に掃き、又は真空掃除機で吸塵して埃を取り除く。 ○ 床の汚れや水滴等が付着した部分を水又は中性洗剤で拭きとる。
繊維床	○ 真空掃除機で埃を取り除き、床の汚れは適正洗剤でしみ抜きをする。
浴室、シャワー室床	○ デッキブラシ等で水洗いをする。 ○ 汚れが付着している箇所は洗剤で汚れをとる。

(2) 床以外清掃

区分	内容
フロアマット	○ 真空掃除機で吸塵する。
什器	○ タオルを用いて水又は適正洗剤で汚れを拭きとる。
灰皿	○ 吸い殻を回収し、灰皿を洗浄する。
ごみ箱	○ ごみを分別回収し、容器の汚れを拭きとる。
扉ガラス、把手	○ タオルを用いて水拭き又は乾拭きし、汚れをとる。
金属部分	○ タオルを用いて水拭き又は乾拭きし、汚れをとる。
階段の手すり、滑止め	○ タオルを用いて水又は適正洗剤で汚れを拭きとる。
便所扉、へだて	○ タオルを用いて水又は適正洗剤で拭きあげる。
洗面台、水栓	○ スポンジで適正洗剤を塗布し、洗浄のうえタオルで拭く。
鏡	○ 乾拭きし、汚れが著しい場合は適正洗剤で汚れをとる。
衛生陶器	○ 適正洗剤で洗浄し、同時に金属類も拭きあげる。
衛生消耗品	○ トイレットペーパー、水石鹼を常時補充する。 〔トイレットペーパー補充箇所〕 ○ 本館 1～4階便所、講堂用便所 ○ 術科棟 1～3階便所 ○ 生徒寮 1階便所 ○ 射撃場 便所 〔水石鹼補充箇所〕 ○ 本館 1～4階便所、講堂用便所 ○ 術科棟 1～3階便所 ○ 生徒寮 1階便所、食堂前手洗場
汚物容器	○ 内容物を収集し、容器は洗浄して元の場所に戻すこと。
塵芥容器	○ 茶殻等の塵芥を収集し、容器が汚れている場合は中性洗剤で洗浄する。
流し台	○ スポンジたわしを用いて中性洗剤で洗浄し、タオルで拭く。
浴室	○ 扉、水栓等の金具を適正洗剤で拭き、排水口の目皿のゴミを取って洗う。 ○ 洗い場付近の汚れが付着している壁部分は洗剤等で汚れをとる。 ○ 鏡は乾拭きし、汚れが著しい場合は適正洗剤で汚れをとる。 ○ 浴槽内の水にあるゴミ等をポンプでくみ上げて除去する。 ○ ゴミ箱は、ゴミを回収し、容器の汚れをとる。
浴室椅子	○ カビ取り用塩素系洗剤を使用して浴室の椅子（60脚）の洗浄を行い、椅子の表側と裏側をスポンジで汚れを除去する（月1回）。
浴槽	○ 浴用洗剤を使用して水垢や汚れを除去する。 ※ 毎週木曜日に実施する。ただし、12月の第5週目は実施せず、2

	月の第2週目は10日(水)に実施する。
脱衣室	<ul style="list-style-type: none"> ○ 棚は、タオルを用いて水拭き又は乾拭きし、汚れをとる。 ○ ゴミ箱は、ゴミを回収し、容器の汚れをとる。 ○ 忘れ物は、整理して管理する。 ○ 扇風機は、埃を取り除き、汚れが付着している箇所は洗剤で汚れを除去する。
浴室前室	<ul style="list-style-type: none"> ○ 扉ガラス、把手をタオルを用いて水拭き又は乾拭きし、汚れをとる。 ○ 排水口の目皿のゴミを取って洗う。
シャワー室	<ul style="list-style-type: none"> ○ 扉、水栓等の金具を適正洗剤で拭き、排水口の目皿のゴミを取って洗う。 ○ 壁部分は、洗剤等で汚れを取る。 <p>※ 毎週水曜日に実施する。ただし、閉庁日を除く。</p>

(3) 巡回清掃

巡回して、床の汚れ、水滴等が付着した部分をモップで拭くとともに、便所、洗面所の洗面台、鏡、衛生陶器の汚れを拭きとる。

(4) ゴミ収集

事務室等から搬出されたゴミを集積所まで運搬し、種別毎に分別する。

(5) 建物外部

区分	内容
玄関周り	○ ほうきで掃き、汚れの目立つ部分を水拭きする。
構内通路、駐車場	○ 巡回して粗ゴミを拾う（落ち葉拾いを含む。）。

2 定期清掃

(1) 床清掃

区分	内容
弾性床及び硬質床の清掃	<ul style="list-style-type: none"> ① 椅子等の什器を移動する。その後、洗浄水の浸入のおそれのあるコンセント等を養生し、床面の除塵を丁寧に行う。 ② 希釈した表面用洗剤を使用し、ポリッシャー等により床に付着している汚れを洗浄する。その後、水拭きを行い、汚水や洗剤を完全に除去し、十分に乾燥させる。 ③ 樹脂床維持剤を塗り残しや塗りむらのないように塗り、十分に乾燥させる。その後、椅子等の什器を元の位置に戻す。
繊維床の清掃	<ul style="list-style-type: none"> ① 椅子等の什器を移動する。その後、床面の除塵を真空掃除機で丁寧に行う。 ② 適正洗剤を汚れのひどい箇所にあらかじめ噴霧する。その後、水を浸して絞ったモップ、布等で洗浄する。 ③ パイルが乾燥しないうちに整毛する。その後、十分に乾燥させ、バキュームクリーナーで吸塵する。
弾性床の剥離清掃	<ul style="list-style-type: none"> ① 洗浄水が浸入するおそれのあるコンセント等を養生し、床面の除塵を丁寧に行う。 ② 剥離用パッドを装着したポリッシャーにより、樹脂床維持剤の剥離作業を行う。その後、剥離状況を確認し、不十分な箇所については再度剥離作業を行う。 ③ 吸水用真空掃除機等により汚水を除去する。その後、水拭きを行い、汚水や剥離剤を完全に除去し、十分に乾燥させる。 ④ 樹脂床維持剤を塗り残しや塗りむらのないように塗り、十分に乾燥させる。その後、重ね塗りをを行う。